

# レッド・アーク・グローバル・インベストメンツ(ケイマン)トラストー 償還時目標設定型ファンド1903 ～愛称:キャッチ・ザ・ピーク～

ケイマン籍契約型公募外国株式投資信託(単位型)

米ドル建て受益証券

豪ドル建て受益証券

お申込期間: 2019年2月25日～2019年3月27日



投資信託のお申込みに際しては、投資信託説明書(交付目論見書)等をよくお読みになり、契約内容およびリスク・手数料等をご理解いただいたうえでお客様ご自身の判断と責任においてお取引ください。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申し込みは、

**PRESTIA**

商号等 株式会社SMB C信託銀行  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第653号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人 日本投資顧問業協会  
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■代行協会員は、

商号等 シティグループ証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第130号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人 金融先物取引業協会  
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■管理会社は、

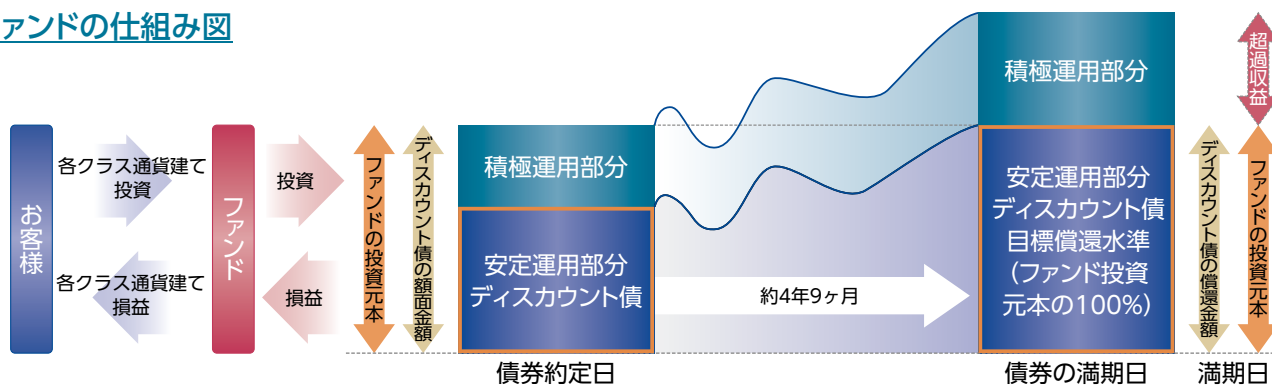
シティグループ・ファースト・  
インベストメント・マネジメント・リミテッド

# ファンドの特徴

「レッド・アーク・グローバル・インベストメンツ(ケイマン)トラストー償還時目標設定型ファンド1903～愛称:キャッチ・ザ・ピーク～」は当資料内では「ファンド」または「サブ・ファンド」といいます。

- 1 ファンドは、信託期間\*約4年9ヶ月の単位型投資信託です。
  - 2 ミドル建て、豪ドル建ての2つのクラスがあり、満期日において各クラス通貨の発行価格の100% (目標償還水準)を確保することを目指す安定運用部分と、超過収益の獲得を目指す積極運用部分に分けて運用されます。  
\*「信託期間」は、2019年3月29日の運用開始日から満期日までを指します。「満期日」は、2023年12月29日または管理会社が決定するその他の日をいいます。
- 安定運用部分は、額面の100%で償還することを前提とした各クラス通貨建てディスカウント債への投資を通じて、各クラスの目標償還水準確保を目指します。
  - 積極運用部分は、各クラスのインデックス(米ドル建てクラスについてはグローバル・マルチアセット米ドル建てVT5 シリーズ2指数、豪ドル建てクラスについてはグローバル・マルチアセット豪ドル建てVT5 シリーズ2指数を指します。)を対象としたルックバック・コールオプション取引(P.2「積極運用部分の運用について」をご確認下さい。)を通じて、超過収益の獲得を目指します。
  - 安定運用部分と積極運用部分の当初比率はファンド設定日の各クラス通貨の金利等により決定されます。

## ファンドの仕組み図

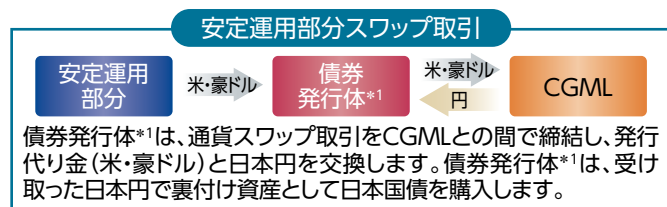


※上記はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

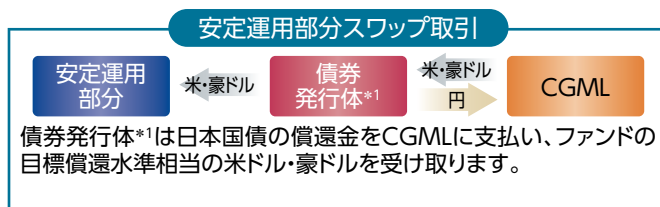
## 安定運用部分の運用について

- 安定運用部分で運用されるディスカウント債は、当初にクラス通貨(米・豪ドル)を渡し、円を受け取り、満期時にクラス通貨(米・豪ドル)を受け取り、円を渡す通貨スワップ取引(安定運用部分スワップ取引)を用いて組成されます。米・豪ドルの需要が円の需要を上回る状態が続いていること等を背景に、当スワップ取引を通じて取得可能であると想定される金利が、米・豪州国債等への投資により取得できる金利と比較して高くなっています。(2019年1月現在)
- ファンドはディスカウント債から、年率0.77%のクーポンを月次で受領します。クーポンは管理報酬等に充当されます。
- ディスカウント債が用いる安定運用部分スワップ取引はシティグループ・グローバル・マーケッツ・リミテッド(以下「CGML」といいます。)を取引相手方とします。

### 債券の発行日



### 債券の満期日



- ファンドはディスカウント債の債券の発行体の信用リスクに加えてディスカウント債の裏付け資産である日本国債、安定運用部分スワップ取引の相手方であるCGMLの信用リスクを負っています。
- なお、安定運用部分スワップ取引については、CGMLとの間での信用補完契約に基づいて、先進国の国債(日本、米国、英国、ドイツ、フランス)または現金等の担保が交換されます。

※ファンド満期日に目標償還水準(発行価格の100%)確保を目指しますが、目標償還水準での償還が保証されているわけではありません。ディスカウント債の発行体、裏付け資産である日本国債、安定運用部分スワップ取引の相手方であるCGMLがデフォルトした場合等には目標償還水準を下回る可能性があります。

※各クラスの期中における1口当たり純資産価格は市場動向により変動し、発行価格を下回ることがあります。従って途中換金の場合、目標償還水準を達成することができないことがあり、換金価額は各クラス通貨建て投資元本を下回る場合があります。

※ファンドはクラス通貨建てで設定され、円から投資する場合には各クラス通貨との為替変動リスクが発生します。また目標償還水準は各クラス通貨建てで設定され、償還時において円建ての目標はありません。

\*1 アンサンブル・インベストメント・コーポレーション・エス・エイ(特別目的会社)  
特別目的会社は、債券の発行などの事業を営むことを目的とした会社です。一般的に資産の証券化や仕組債を発行する際に使用されます。



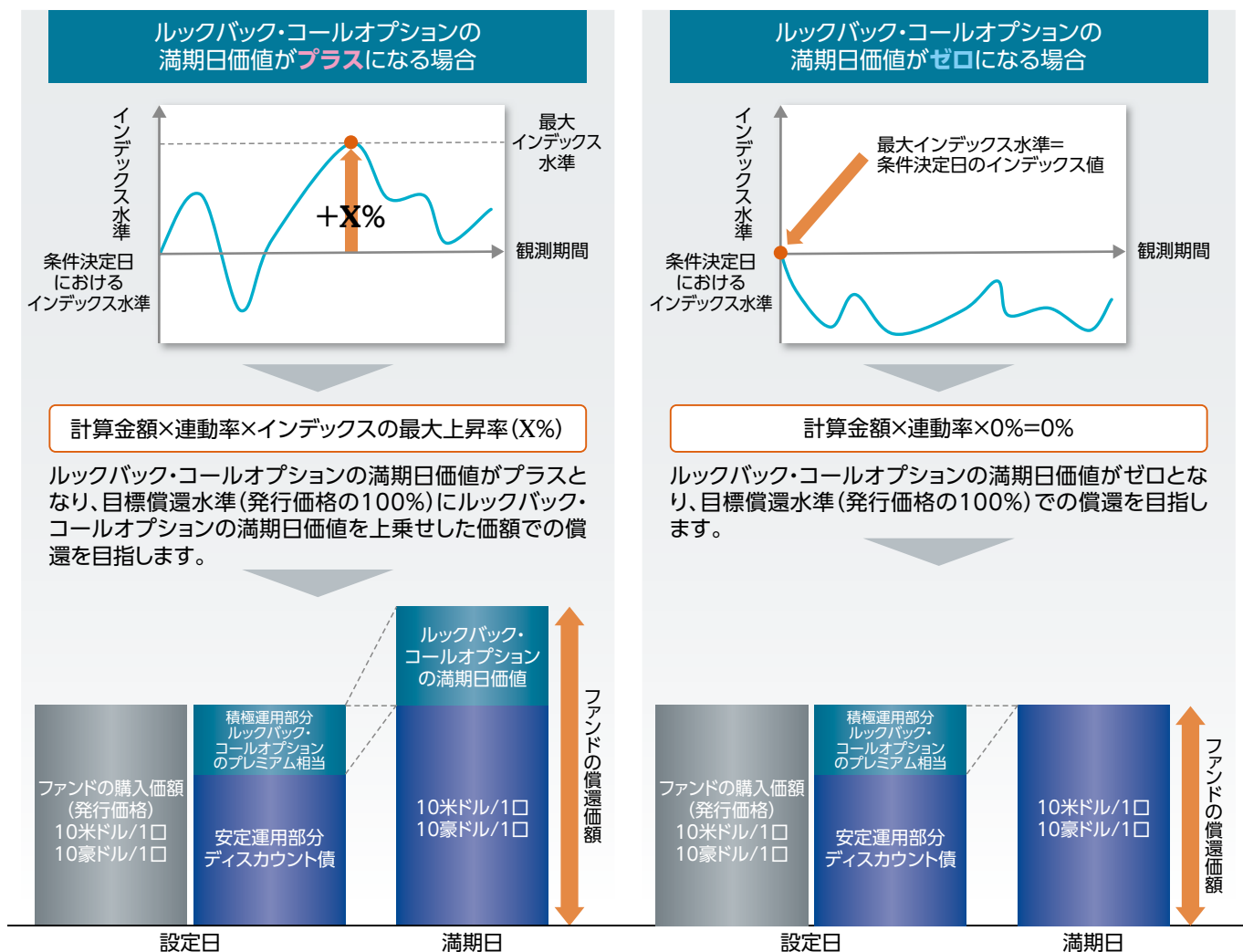
## 積極運用部分の運用について

- 積極運用部分は、各クラス通貨建てルックバック・コールオプションを購入し、その対価としてプレミアムを支払います。
- ルックバック・コールオプション取引は、観測期間における最大インデックス水準と行使価格の差を基にして計算される金額に従い決済されます。
- ルックバック・コールオプション取引は、CGMLを取引相手方とし、CGMLとの間での信用補完契約に基づいて、現金等の担保が交換されます。

## ルックバック・コールオプションの満期日価値とファンドの償還価額(イメージ)

- 各クラスのルックバック・コールオプションの満期日価値は、(計算金額×連動率×インデックスの最大上昇率)となります。
- 連動率とは、インデックスにどの程度連動するかを示した数値です。
- 連動率は、ファンド設定日の各クラス通貨の金利水準等により、設定日頃に決定されます。

### 観測期間中の最大上昇率に応じた収益を獲得



※上記はイメージ図であり、実際とは異なる場合があります。

※「計算金額」とは、受益証券の関連するクラスに適用ある発行価格に対して、受益証券の関連するクラスの計算時点における発行済み受益証券の口数を乗じた額をいいます。

※「ルックバック・コールオプション満期日」とは、2023年12月18日または管理会社とCGMLが合意したその他の日をいいます。

※「最大インデックス水準」とは、観測期間中の各インデックス評価日におけるインデックス水準のうち、最も高いものをいいます。

※「インデックス評価日」とは、観測期間中に発生する条件決定日ならびにインデックス営業日およびインデックス取引日の双方にあたるそれぞれの日をいいます。

※「条件決定日」とは、2019年4月1日または管理会社とCGMLが合意したその他の日をいいます。

※「インデックス営業日」とは、ロンドンにおいて、商業銀行および外国為替市場が一般業務(外国為替取引および外貨預金取引を含む。)のために営業を行うことが予定されている各日をいいます。

※「インデックス取引日」とは、フランクフルト、ニューヨーク、シドニーおよび東京の証券取引所が通常取引の立会時間のために営業を行うことが予定されている各日をいいます。

※「観測期間」とは、条件決定日からルックバック・コールオプション満期日までの期間(条件決定日とルックバック・コールオプション満期日の両日を含みます。)をいいます。



# 積極運用部分のインデックスについて①



グローバル・マルチアセット米ドル建て/豪ドル建てVT5 シリーズ2指数は、世界の株式指数先物・商品先物指数・債券先物に機動的に投資する世界分散投資戦略です。

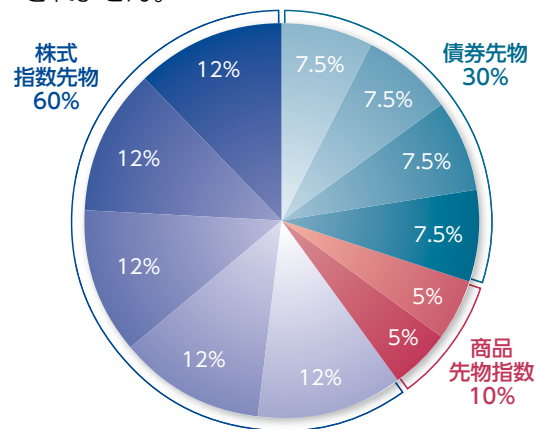
## ステップ1 コアアセットとリザーブアセットの策定

- 世界の株式指数先物・商品先物指数・債券先物で構成されるコアアセットと、世界の債券先物で構成されるリザーブアセットを策定します。

### コアアセットとリザーブアセットの構成資産と比率

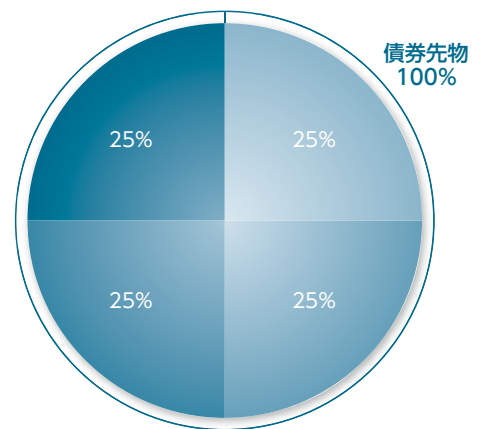
#### コアアセット

- ・リスクオン時(投資家がリスクの高い資産に資金を振り向けることを志向している状態)に上昇が期待される世界の株式指数先物(為替ヘッジあり)を60%、商品先物指数(為替ヘッジあり)を10%組み入れています。
- ・先進国の債券先物を30%組み入れますが為替ヘッジはされません。



#### リザーブアセット

- ・リスクオフ時(投資家がリスクを回避するために安全な資産に資金を振り向けることを志向している状態)に資金が集まることが期待される先進国の債券先物を100%組み入れています。
- ・債券先物は為替ヘッジされます。



豪州国債先物
ドイツ国債先物
米国国債先物
日本国債先物
原油先物指数
金先物指数
新興国株式指数先物
豪州株式指数先物
欧州株式指数先物
日本株式指数先物
米国株式指数先物

※為替ヘッジは投資対象資産が帰属する通貨の米ドル(米ドル建て指数)/豪ドル(豪ドル建て指数)に対するヘッジを指します。

## ステップ2 機動的に構成比率を切り替えるアセットアロケーション戦略の策定

- グローバル金融市場のリスクを定量的に観測するマクロ指標、およびコアアセットのトレンドを定量的に観測するトレンド指標を組み合わせてコアアセットとリザーブアセットの投資比率を週次で決定します。

### 各指標の組み合わせとコアアセット/リザーブアセットの投資比率

マクロ指標 グローバル金融市場のリスク	トレンド指標 「コアアセット」のトレンド	トレンド指標	
		上昇トレンド ↗	下落トレンド ↘
・株式、金利、為替の価格変動率や市場の流動性などのマーケットデータを基に、日次でグローバル金融市場のリスクを定量的に判定します。	リスクオン ▲ リスクが非常に低い	100% コアアセット	75% コアアセット 25% リザーブアセット
	▲ リスクが低い	50% コアアセット 50% リザーブアセット	
	▼ リスクが高い	25% コアアセット 75% リザーブアセット	100% リザーブアセット
	リスクオフ ▼		

# 積極運用部分のインデックスについて②

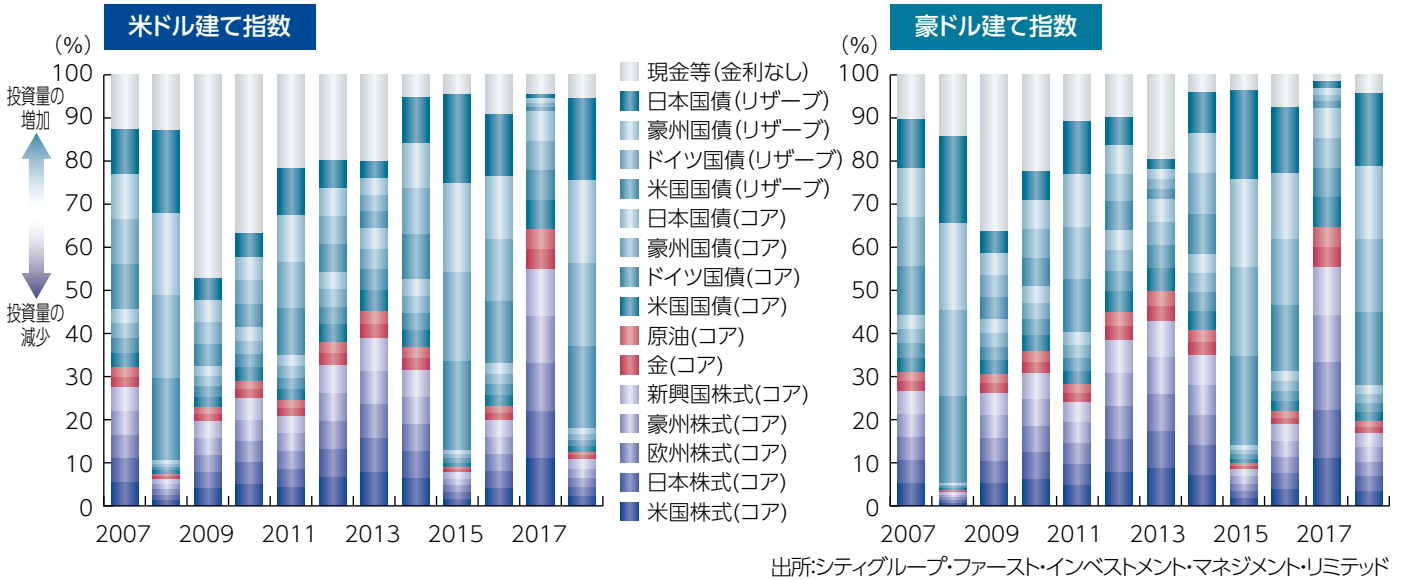


## ステップ3

### ボラティリティーターゲットによる投資量の決定

- 機動的に構成比率を切り替えるアセットアロケーション戦略の過去のパフォーマンスをもとに年率ボラティリティーを計測し、年率ボラティリティーが5%となることを目指して各投資対象資産の投資量が決定されます。
- 過去の年率ボラティリティーが5%を上回っている時には、ステップ2で決定されたコアアセットとリザーブアセットの投資比率をベースとして投資量を100%未満に減少させ、5%を下回っている時には投資量を最大100%まで増加させることで、年率ボラティリティーが一定となることを目指します。

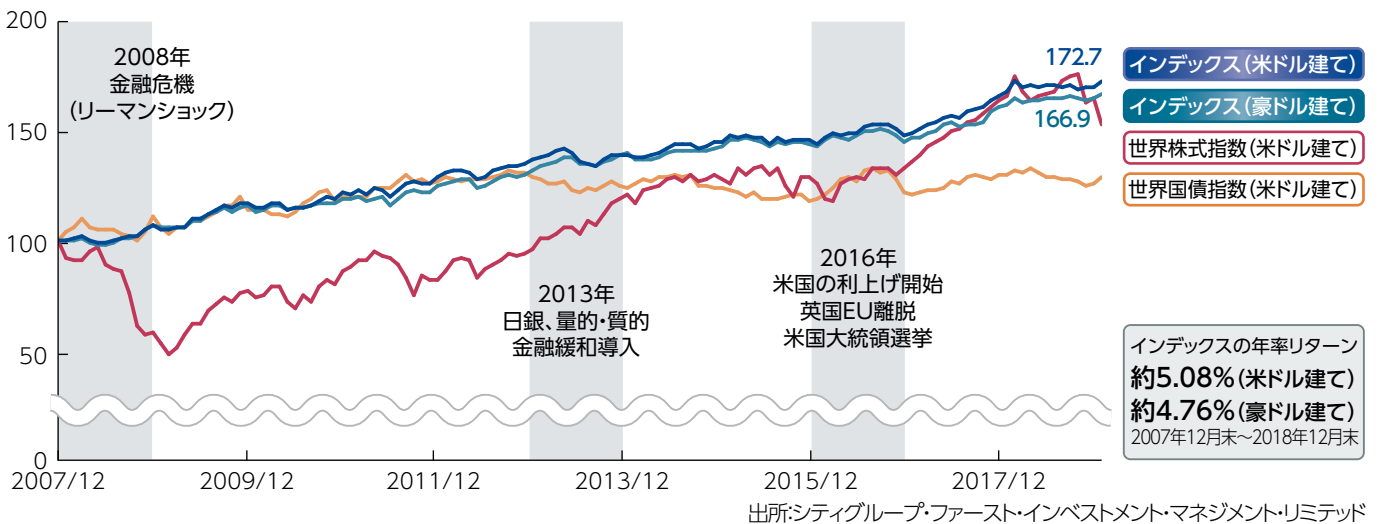
### ボラティリティーターゲット適用後の各資産構成比率推移(年平均データ) 2007年12月末～2018年12月末



※ボラティリティーターゲットは過去のボラティリティーを基に投資量を調整し、また一定以上の投資量の変更が見込まれる時のみ投資量の変更がなされるため、実際のインデックスの年率ボラティリティーが必ず5%となる訳ではありません。  
 ※上記データは、インデックスのルールに基づき実施したバックテストデータであり、当ファンドの実際のパフォーマンス、及び将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。

### インデックスのパフォーマンス推移

2007年12月末～2018年12月末



※インデックス: グローバル・マルチアセット米ドル建て/豪ドル建てVT5 シリーズ2指数(年率0.5%の控除率が差し引かれています)、世界国債指数: FTSE世界国債インデックス、世界株式指数: MSCI KOKUSAIインデックス(配当込み)。2007年12月末を100として試算。  
 ※上記データは、インデックスのルールに基づき実施したバックテストデータであり、ファンドの実際のパフォーマンス、及び将来の運用成果を示唆または保証するものではありません。  
 ※MSCI公表指数に関する著作権、知的財産権およびその他一切の権利はMSCI Inc.に帰属し、また内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。  
 ※FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

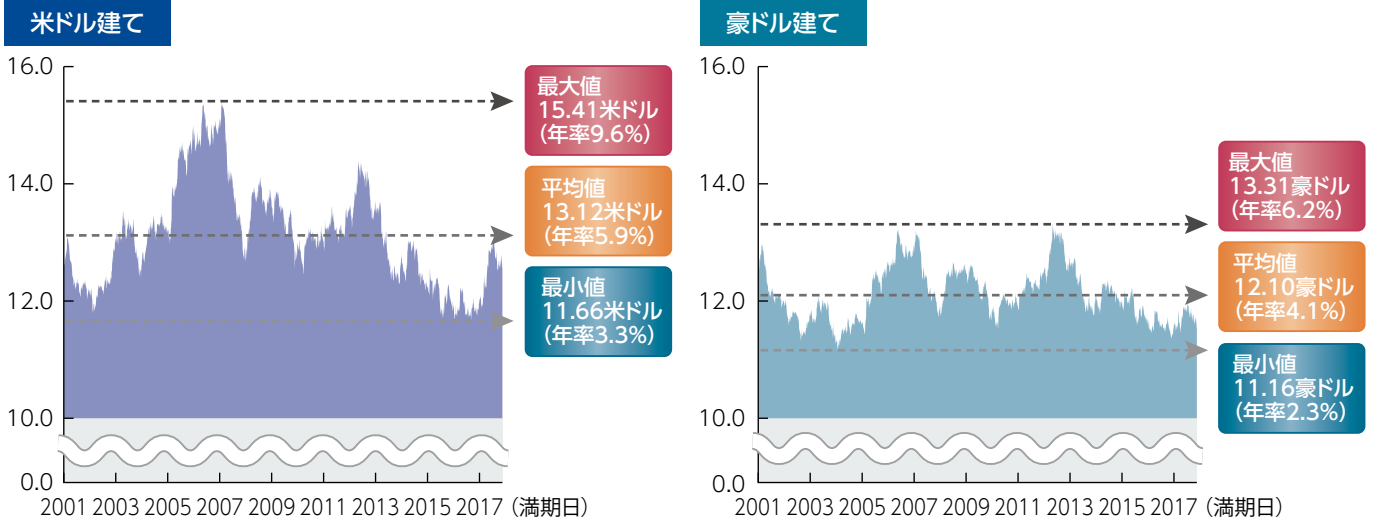
# 償還価額のシミュレーション



- 本シミュレーションは、インデックスの過去のパフォーマンスシミュレーション等を基に、各クラスの償還価額(1口当たり)の推移を管理会社が試算したものです。
- 本シミュレーションは、過去のデータに基づいた試算結果であり、ファンドの将来のパフォーマンス等を示唆、保証するものではありません。

## ファンドの各クラスの満期日別償還価額のシミュレーション

(1口当たり償還価額(米ドル/豪ドル))



出所:シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド

※上記シミュレーション結果は、2019年1月22日における参照金利(米ドル2.67%、豪ドル2.21%(2019年1月22日時点))その他の条件により算出された連動率(米ドル建て100%、豪ドル建て80%)を用いて、1997年2月13日～2014年3月31日の各営業日に受益証券1口あたり10米ドル/10豪ドルで設定した場合の、その4年9ヶ月後の償還価額の推移を表しています。例えば、グラフ上の2001年12月末の数値は2001年12月末に償還を迎えた場合の償還価額を示しています。

※実際の連動率はファンドの設定日における、金利その他条件により決定されます。

- 下記はその他条件が不変であると仮定した場合における、金利水準の変化による連動率及び償還価額の年率リターン(最大値、平均値、最小値)のシミュレーション結果です。

	米ドル建て			豪ドル建て		
	参照金利が0.25%低下した場合	参照金利が現行水準の場合(2.67%, 2019年1月22日時点)	参照金利が0.25%上昇した場合	参照金利が0.25%低下した場合	参照金利が現行水準の場合(2.21%, 2019年1月22日時点)	参照金利が0.25%上昇した場合
連動率	90%	100%	114%	67%	80%	91%
最大値	8.7%	9.6%	10.6%	5.3%	6.2%	7.0%
平均値	5.4%	5.9%	6.6%	3.5%	4.1%	4.6%
最小値	3.0%	3.3%	3.7%	2.0%	2.3%	2.6%

※金利は0.25%以上、上昇及び低下する場合があります。

## 管理会社、その他関係法人

管理会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント・リミテッド
販売会社	株式会社SMBC信託銀行
管理事務代行会社、保管会社	SMBC日興ルクセンブルク銀行株式会社
受託会社	CIBC・バンク・アンド・トラスト・カンパニー(ケイマン)リミテッド
代行協会員	シティグループ証券株式会社

当ページでは、グローバル・マルチアセット米ドル建てVT5 シリーズ2指数およびグローバル・マルチアセット豪ドル建てVT5 シリーズ2指数を「インデックス」または「本インデックス」といいます。

## ファンドのリスク

### リスク要因

受益証券の各クラスに帰属すべき受益証券1口当たり純資産価格は、サブ・ファンドに組み入れられている有価証券、商品および他の資産の値動きならびに為替相場の変動等により上下します。したがって、サブ・ファンドの投資元本は保証されているものではなく、受益証券の各クラスに帰属すべき受益証券1口当たり純資産価格の下落により、投資元本を割り込むことがあり、受益証券のかかる関連するクラスの投資者が損失を被ることがあります。受益証券の各クラスに関して、受益証券のかかるクラスに帰属すべき運用または為替相場の変動等による損益は、すべて受益証券のかかるクラスの投資者の皆様へ帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

以下は、網羅的なものではなく、サブ・ファンドの主な投資リスクの要点だけを述べたものです。他のリスクを含む詳細は、請求目論見書をご参照ください。

### サブ・ファンドに関連するリスク

#### 為替リスク

受益証券に関して為替ヘッジが行われず、したがって、投資者は、クラス基準通貨とクラス基準通貨以外の通貨建ての対象資産に対する投資の間の為替変動の影響を受けることがあります。

#### 利益相反

シティグループ・グローバル・マーケット・リミテッドの関連会社（以下、それぞれを、「シティ・カウンターパーティー」といいます。）は、サブ・ファンド、本債券および／または本インデックスに関して一定の職務を履行することがあります。管理会社および各シティ・カウンターパーティーは、シティグループの関連会社であり、それゆえ、互いに独立ではなく、各自がサブ・ファンドに関して履行する職務は、潜在的な利益相反を生じさせることがあります。当該利益相反が生じる場合、受託会社および管理会社は、各自の義務（受益者の最善の利益のために行為する義務を含みます（ただし、これらに限られません。）。）を斟酌しながら、当該利益相反を公正に解決し、サブ・ファンドおよび受益者の利益が不当に害されないことを確保するように努めます。

### 安定運用部分に関するリスク

#### ソブリン債

サブ・ファンドは、本債券に投資することにより、ソブリン債に対するエクスポージャーを有する場合があります。政府発行体の商品に対するエクスポージャーは、多大な経済リスクおよび政治リスクを伴うことがあります。政府機関の債務に対するエクスポージャーにより、サブ・ファンドは、関連する国における政治的、社会的および経済的変化の直接的または間接的な影響を受けることになります。政治的变化は、政府がその債務を適時に支払い、またはその用意を行う意欲に影響を及ぼすことがあります。とりわけインフレ率、対外債務額および国内総生産に反映される国家の経済的状況もまた、当該政府の債務履行能力に影響を与えます。

#### 金利変動

債券の価値は、金利変動に応じて上下することがあります。一般的に、金利が上昇すると、債券の価値は下落する傾向にあります。反対に、金利が下落すると、債券の価値は上昇する傾向にあります。債券の価値の変動幅は、債券の満期および発行条件を含む様々な要因に左右されます。長期債券は、一般的に、金利変動に対して短期債券よりも感応度が高い傾向にあります。金利変動は、管理会社がサブ・ファンドの計算において購入するデリバティブ商品の価値および価格にも影響を与えます。

#### 信用リスク

債券発行会社は、本債券に基づく同社の債務を補完するための実質的な固有資産を保有しない特別目的会社であり、サブ・ファンドに起因する金額は担保契約に基づき債券発行会社に支払われた資金および担保資産によってのみ支払われます。そのため、サブ・ファンドは、債券発行会社、シティグループ・グローバル・マーケット・リミテッドまたは発行会社のスワップ・カウンターパーティーとしてのその承継人および担保資産の債務者の完全な信用リスクの全部を引き受けます。

### 積極運用部分およびインデックスに関するリスク

#### ルックバック・コールオプション・カウンターパーティー・リスク

サブ・ファンドは、シティグループ・グローバル・マーケット・リミテッドであるルックバック・コールオプション・カウンターパーティーについて、ルックバック・コールオプションの条件に係る紛争またはルックバック・コールオプション・カウンターパーティーに該当する信用もしくは流動性問題のために、かかる団体がルックバック・コールオプション取引に適用される要項に従って取引を決済しない場合には、その信用リスクエクスポージャーの対象となります。これにより、サブ・ファンドは損失を被る場合があります。

#### 戦略リスク

積極運用部分の投資目的は、本インデックスのパフォーマンスに連動するリターンを提供することです。あらかじめ定められたルールおよび／またはシグナルに基づきコアアセットおよびリザーブアセットに対する配分をする戦略である積極運用部分の投資目的の性質上、管理会社は、市場環境の変化に順応するために限定的な裁量しか有しません。あらかじめ定められたルールおよび／またはシグナルが意図されたとおりに機能すると保証はありません。

#### 本インデックスの構成銘柄に関するリスク

受益証券の対応するクラスに関する積極運用部分がエクスポージャーをもたらすことを目指す本インデックスは、本インデックスの適格な構成銘柄の加重パフォーマンスを反映することが意図されており、それゆえ、サブ・ファンドは、本インデックスの適格な構成銘柄が追跡する資産および市場である、株式（新興市場の発行体により発行された株式を含みます。）、商品および債券に対する投資のリスクの影響を間接的に受けることになります。

### コールオプションの購入に関するリスク

サブ・ファンドは、店頭ヨーロピアン・コールオプションの購入を通じて、本インデックスに対するエクスポージャーを獲得します。コールオプションの購入および売却に関連するリスクが存在します。ルックバック・コールオプション取引に関して、支払われるプレミアムを負担するために、ルックバック・コールオプション満期日において最大インデックス水準が条件決定日におけるインデックス水準を十分に超えない場合、コールオプションの買手は、コールオプションへの投資（の全部またはその一部）を失うリスクを負います。



## お申込みメモ

詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンド名称	レッド・アーク・グローバル・インベストメンツ(ケイマン)トラスト - 償還時目標設定型ファンド1903 ～愛称:キャッチ・ザ・ピーク～
商品分類	公募外国株式投資信託(単位型)
ファンド設定日	2019年3月29日
申込期間	2019年2月25日～2019年3月27日※継続募集はありません
信託期間	2019年3月29日～2023年12月29日(約4年9ヶ月)
営業日	ロンドン、ルクセンブルグ、シドニー、ニューヨーク、香港および東京の各地において商業銀行が営業を行っている各日(土曜日、日曜日または祝日を除きます。)(ただし、台風警報8号、黒色暴雨警報の発令またはその他の類似の事象により、いずれかの日に香港の銀行の営業時間が短縮された場合、当該日は営業日とはなりません(管理会社が別途決定する場合を除きます。))ならびに/または管理会社が随時書面により指定するその他の日をいいます。
申込価格	(米ドル建て受益証券)1口当たり10.00米ドル (豪ドル建て受益証券)1口当たり10.00豪ドル
申込単位	(米ドル建て受益証券)3,000米ドル以上、1米セント単位。申込期間中の追加申込単位は、100米ドル以上1米セント単位。 (豪ドル建て受益証券)3,000豪ドル以上、1豪セント単位。申込期間中の追加申込単位は、100豪ドル以上1豪セント単位。
買戻価格	関連する買戻日現在の受益証券1口当たり純資産価格
買戻単位	原則として受益証券1口以上1/1,000口単位 (保有全受益証券売却の場合は1/1,000口以上、1/1,000単位)
買戻代金のお支払い	原則として買戻申込日から起算して7営業日目以降 (休日等により変更となることがあります。詳しくはお問い合わせ下さい。)

## 直接的にご負担いただく費用

購入時手数料	一律 2.16%(税抜き2.0%) ※外貨建ての投資信託を円資金から該当通貨に交換のうえでお申し込みの場合、別途、為替手数料が片道1円/往復2円(上限)がかかります。
買戻時手数料	ありません。

## 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

管理報酬等			
手数料等	支払先	対価とする役務の内容	報酬率
受託会社の報酬	受託会社	ファンドの受託業務およびこれに付随する業務	受託会社は、サブ・ファンドの信託財産から、毎日計算され、発生し、四半期毎に後払いで支払われる、年間15,000米ドルの受託報酬を受領する権利を有します。
管理会社の報酬	管理会社	ファンド資産の運用管理、受益証券の発行、買戻し業務	管理会社は、サブ・ファンドの信託財産から、受益証券の各クラスに関する計算金額の年率0.11パーセントの管理会社報酬を受領する権利を有します。かかる報酬は、毎日計算され、発生し、毎月後払いで支払われます。
管理事務代行会社および保管会社の報酬	管理事務代行会社 保管会社	ファンド資産の管理事務代行業務 受益証券の発行、譲渡および買戻しに関する登録名義書換事務 ファンド資産の保管業務	管理事務代行会社および保管会社は、サブ・ファンドの信託財産から、受益証券の各クラスに関する計算金額の年率0.12パーセントの管理事務代行および保管に係る報酬を受領する権利を有します。かかる報酬は、毎日計算され、発生し、毎月後払いで支払われます。
代行協会の報酬	代行協会	目論見書の配布、受益証券1口当たり純資産価格の公表、運用報告書等の文書の販売取扱会社への送付等の業務	代行協会は、サブ・ファンドの信託財産から、受益証券の各クラスに関する計算金額の年率0.01パーセントを上限とする報酬を受領する権利を有します。かかる報酬は、毎日計算され、発生し、毎月後払いで支払われます。
販売会社の報酬	販売会社	日本における受益証券の販売業務、購入・買戻しの取次ぎ業務、運用報告書の交付等購入後の情報提供業務、およびこれらに付随する業務	販売会社は、サブ・ファンドの信託財産から、受益証券の各クラスに関する計算金額の年率0.53パーセントを上限とする報酬を受領する権利を有します。かかる報酬は、毎日計算され、発生し、毎月後払いで支払われます。

受益証券の関連するクラスに関する管理会社、販売会社、代行協会ならびに管理事務代行会社および保管会社に支払われる報酬の合計は**年率0.77%**です。手数料および費用等の合計額およびその上限額ならびにこれらの計算方法については、サブ・ファンド、本債券及びルックバック・コールオプション取引の運用状況や受益証券の保有期間等に応じて異なるため表示することができません。

インターネット取引	可 SMBC信託銀行・ホームページ <a href="http://www.smbctb.co.jp">http://www.smbctb.co.jp</a>
-----------	---

\*税法が改正された場合等には、上記手数料率に変更される場合があります。

\*SMBC信託銀行の判断により、取扱いが停止となることがあります。詳しくは、SMBC信託銀行にお問合わせください。

## 投資信託取引に関する注意事項

- 投資信託は銀行預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。また、SMBC信託銀行で取扱う投資信託は金融商品仲介口座を通じた取扱いの場合を除き、投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資信託は、元本・利回りの保証はありません。

## その他のご留意事項

※お申込みの際には、「外国証券取引口座約款」に基づき、外国証券取引口座を設定していただく必要があります。

※米国税法上の米国人(米国民、米国居住者またはグリーンカード保有者)は、居住・非居住にかかわらず投資信託の取引申込みができません。また、非居住者および当行への届出住所が日本国外のお客様についても同様となります。

※本資料は販売用資料としてSMBC信託銀行が作成したものです。スワップカウンターパーティーとしてのCGMLは、一切のその責任を負いません。本資料に記載された情報は、十分信頼に足ると考えられる情報源に基づいておりましたが、その情報の正確性、完全性および公平性については、SMBC信託銀行並びにその関連会社、CGMLが保証するものではありません。また、その情報を使用することにより生ずる、直接または間接のいかなる損失に対しても、責任を負うものではありません。本資料に記載された内容は作成時点のものであり、今後予告なしに変更される事があります。

※シティは、世界中で使用・登録されているシティグループ・インクまたはその関連会社の登録商標またはサービスマークです。